

東京大学医学部附属病院の概要 2023

1



理念

当院は臨床医学の発展と医療人の育成に努め、
個々の患者に最適な医療を提供する

目標

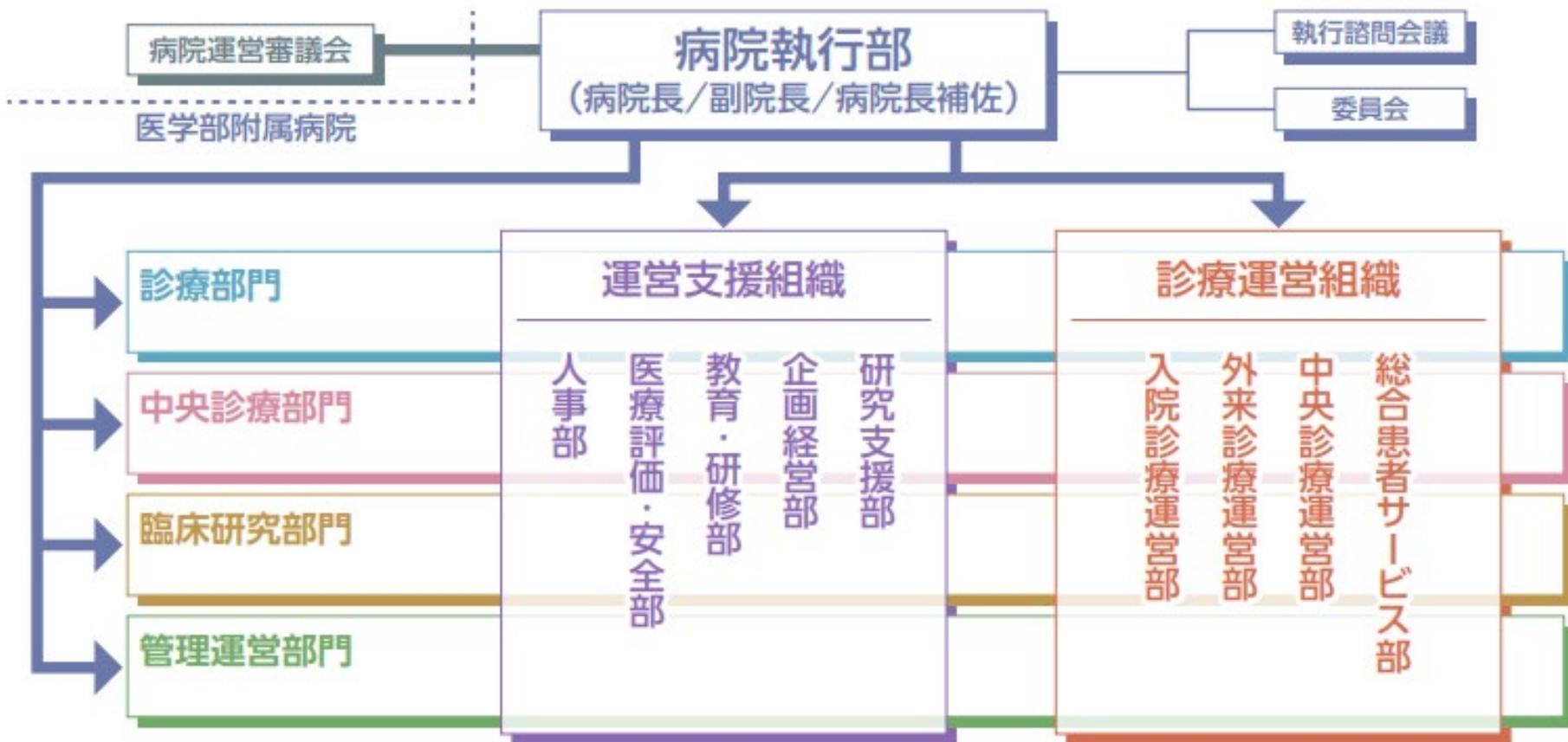
- 患者の意思を尊重する医療の実践
- 安全な医療の提供
- 先端的医療の開発
- 優れた医療人の育成



病院長 田中 栄

東京大学医学部1987年卒 医学博士
東京大学大学院医学系研究科 整形外科学 教授
東京大学医学部附属病院 整形外科・脊椎外科 科長
2023年4月より東京大学医学部附属病院長

東大病院 機構図



病院運営審議会

- 年 4 回開催
- 本部・医学部・外部委員・病院教職員により構成
- 病院の運営に関する重要事項について病院長からの諮問に答申することを目的とする

監査委員会

- 年 2 回開催
- 本部・外部有識者（医療関係者、弁護士、医療を受ける者）により、構成
- 医療に係る医療安全管理の適切な実施を監査

執行部会

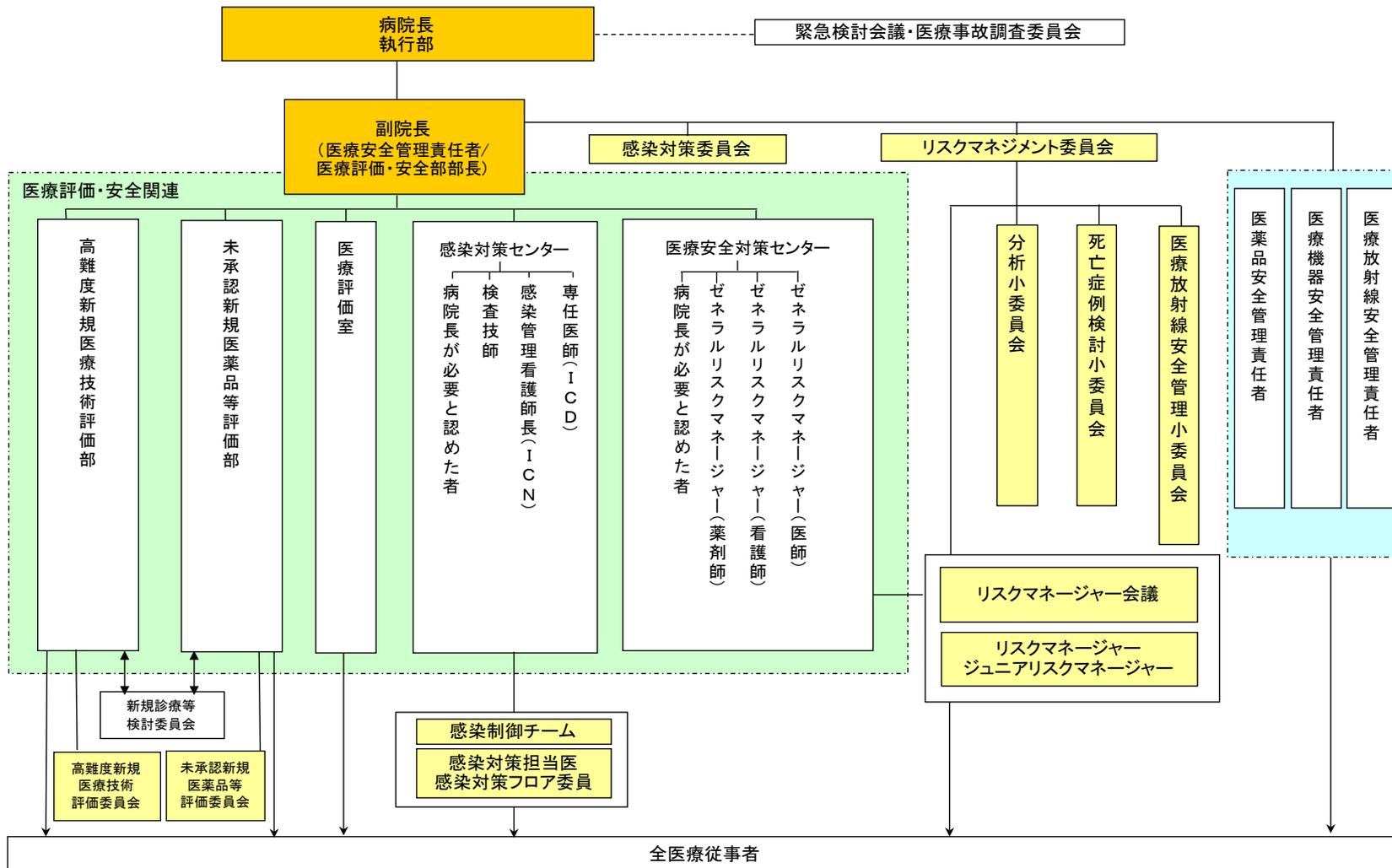
- 病院の意思決定及び執行機関（週 1 回開催）
- 構成（病院長の指名制）
病院長、副院長 4 名、
病院長補佐 1 3 名

執行諮問会議

- 月 1 回開催
- 診療科長、副診療科長等により構成
- 病院長が病院運営全般に関して付議した事項について意見収集及び周知することを目的とする

安全管理体制組織図

医療安全管理体制組織図(医療安全・院内感染・医薬品・医療機器・放射線)



- ・ 保険医療機関
- ・ 特定機能病院
- ・ 救急告示病院
- ・ 救命救急センター
- ・ 災害拠点病院
- ・ DMAT指定医療機関
- ・ 東京都こども救命センター
- ・ 臨床研修病院
- ・ 臓器移植施設（心臓、肺、肝臓、腎臓）
- ・ 臨床修練指定病院
- ・ 臨床研究中核病院
- ・ がんゲノム医療中核拠点病院
- ・ がん診療連携拠点病院
- ・ 総合周産期母子医療センター
- ・ 不妊専門相談センター
- ・ エイズ治療拠点病院
- ・ DPC対象病院

1. 病床数：1,226床（R5.4.1現在）

一般病床：1,157床、精神病床：48床、保険外病床：21床

2. 令和4年度受診者数及び診療報酬請求額等

外来：延べ658,329人（1日平均：2,698人）※外来受診及び人間ドック受診者数。

入院：延べ327,537人（1日平均：897人）

新入院患者数：27,428人、平均在院日数：一般 11.2日 精神 33.2日

診療報酬請求額：501億4900万円（入院：338億6800万円）

（外来：162億8100万円）

入院診療単価：103,402円、外来診療単価：24,731円

救急患者数：12,316人、3次救急：1,004人

手術部手術件数：11,460件、分娩件数（妊娠22週以降）：953件

臓器移植件数：134件

3. 職員数：4,273人（R5.4.1現在、短時間有期雇用職員等を含む。）

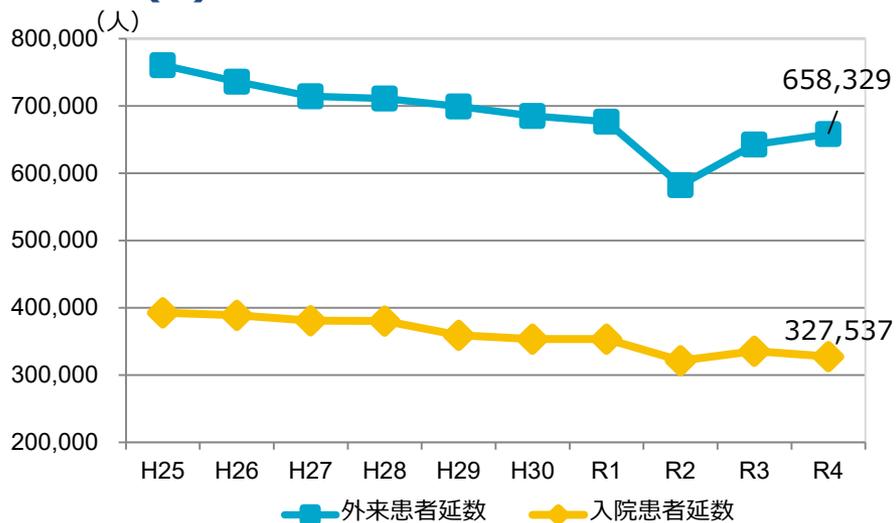
医師（含研修医、歯科医師）：1,689人 教員・研究員等：85人

看護職：1,358人 医療技術職員：432人

事務職員等：709人

病院機能指標 ①

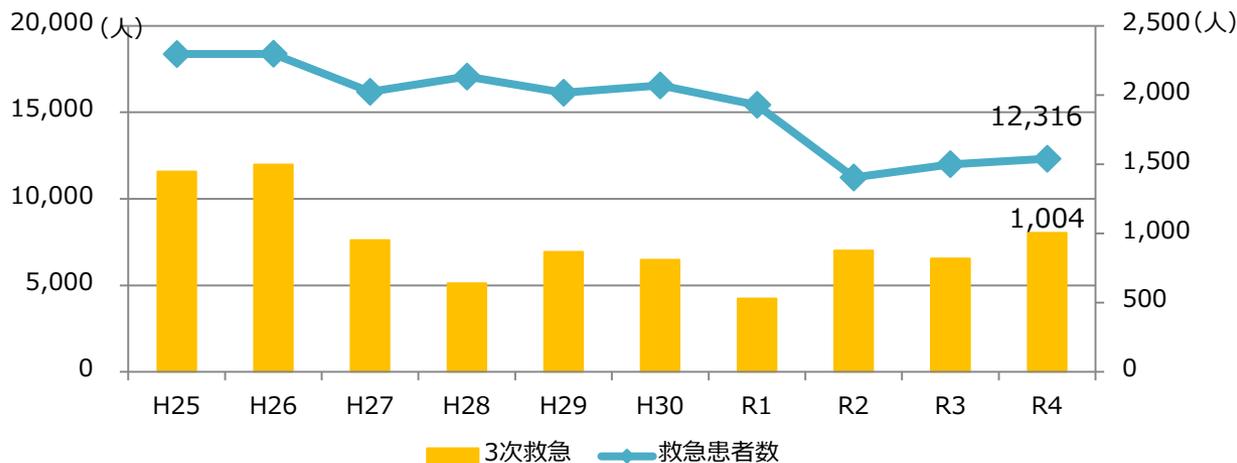
(1) 患者数の推移



(2) 新入院患者数と平均在院日数の推移

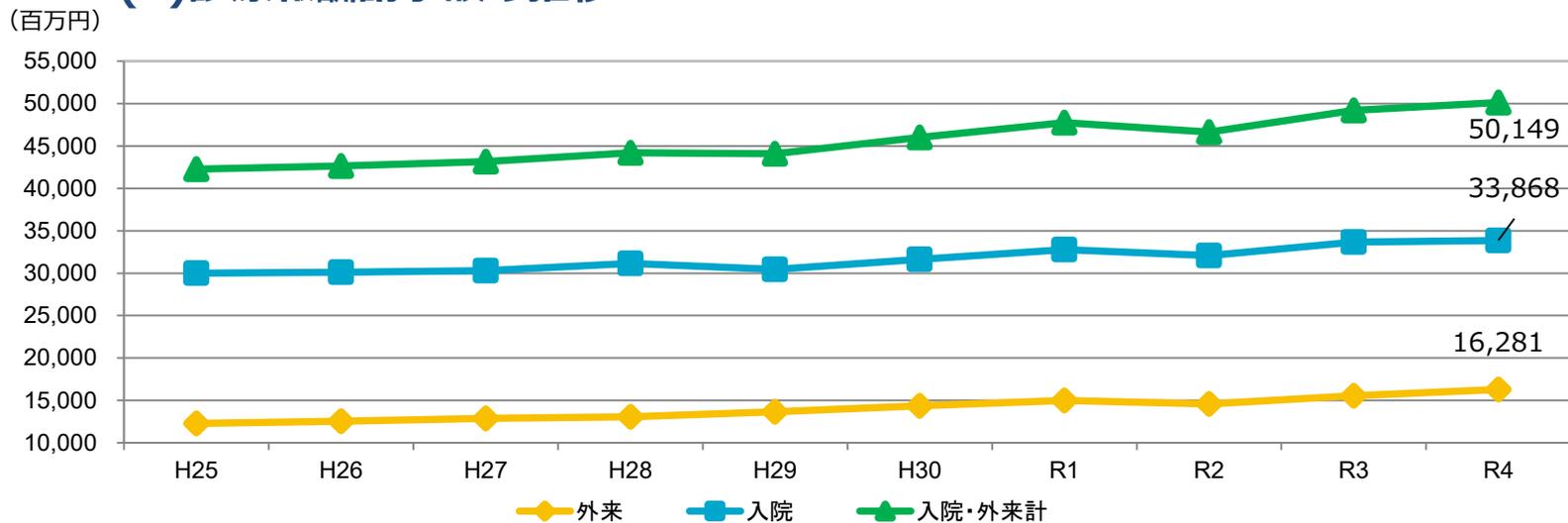


(3) 救急患者数の推移

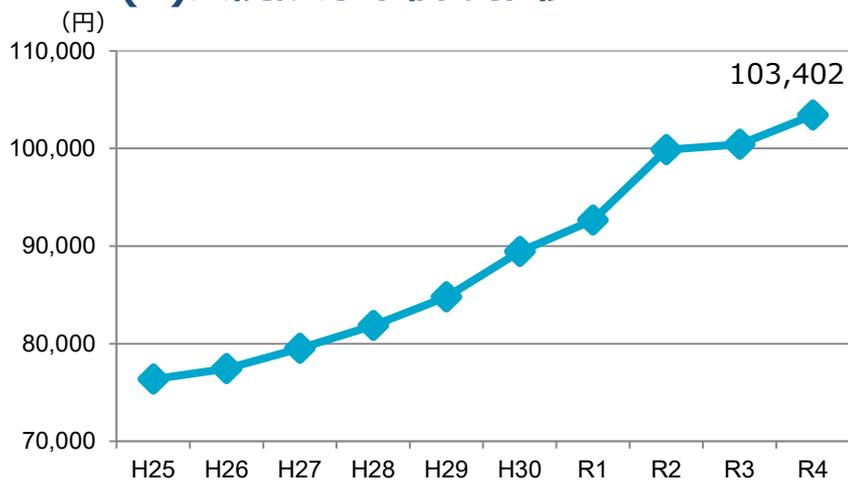


※複数診療科の受診数も含む

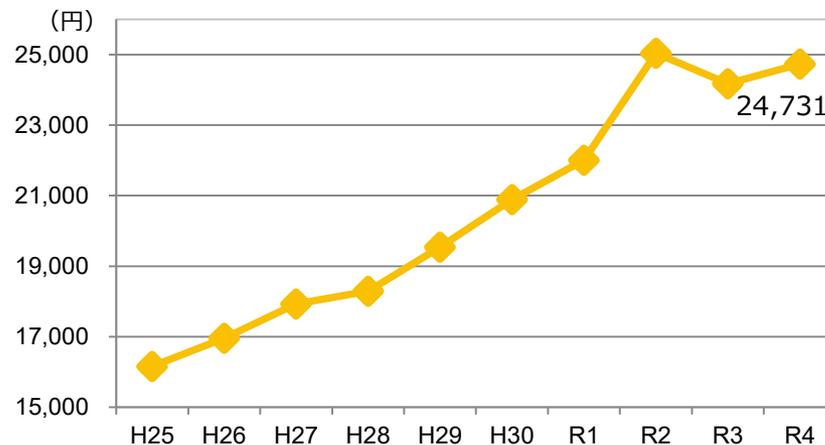
(4) 診療報酬請求額の推移



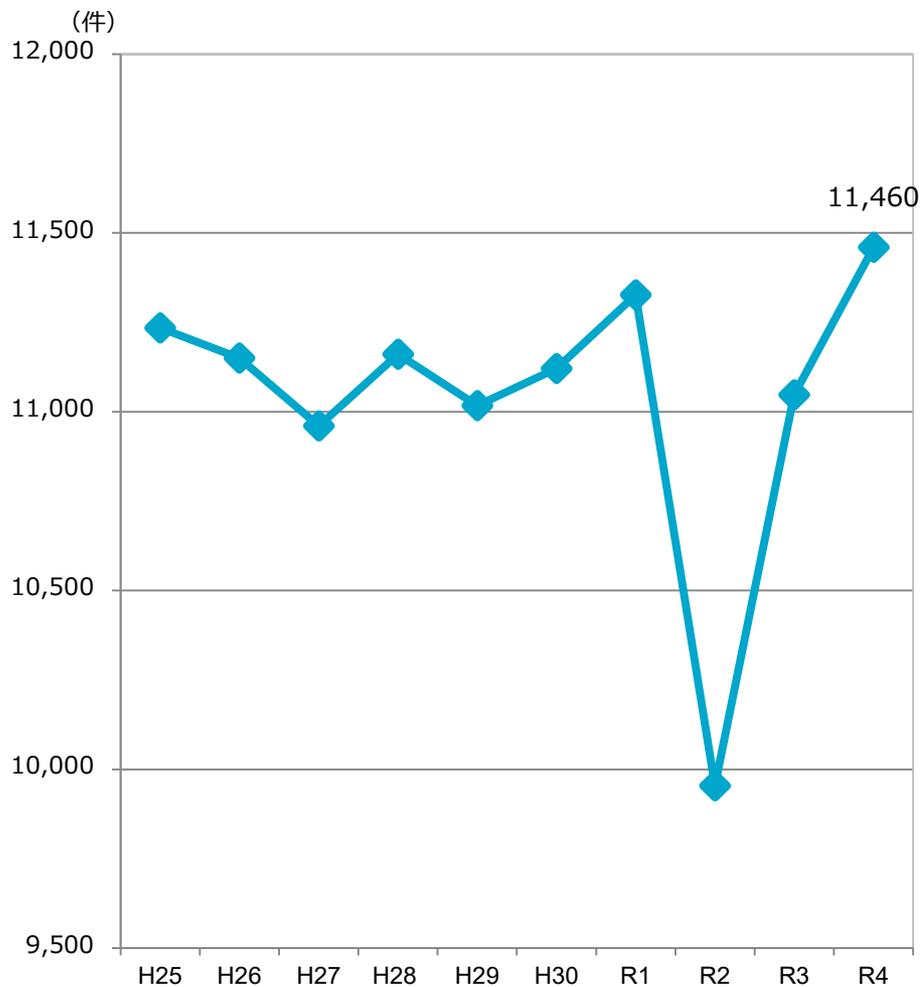
(5) 入院診療単価の推移



(6) 外来診療単価の推移



(7)手術部手術件数の推移



(8)分娩総数の推移



(9)臓器移植件数の推移

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肝移植	生体	22	15	13	21	14	31	31	50	56	54
	脳死	3	1	1	2	1	5	5	11	8	18
腎移植	生体	3		4	4	5	5	2	5	6	6
	献腎			1	2		1		1		
肺移植	生体			1		3		6	8	7	2
	脳死			2	2	6	11	20	20	28	33
心臓移植		19	6	14	13	21	17	26	11	21	21
合計		47	22	36	44	50	70	90	106	126	134

参加者数

第1回 (H27年度)

118名

第2回 (H28年度)

128名

第3回 (H29年度)

135名

第4回 (H30年度)

159名

第5回 (R1年度)

167名

第6回 (R2年度)

Web配信
視聴回数
1,964回

第7回 (R3年度)

Web配信
視聴回数
1,552回

第8回 (R4年度)

Web配信
視聴回数
7,463回

ご参加いただいた団体

東京都医師会, 文京区医師会, 小石川医師会, 浅草医師会, 墨田区医師会,
荒川区医師会, 下谷医師会, 練馬区医師会, 東京都北区医師会,
江戸川区医師会, 千代田区医師会, 豊島区医師会, ほか連携医療機関



◆ 病院長・副院長等により、東京近郊の医師会を訪問

令和4年8月～9月にかけて、東京都・千葉県・埼玉県内の27の医師会を訪問し、連携強化の推進と意見交換を行った

📄 勉強会への講師派遣案内

地域医療連携センター内に、地域医師会の実施する勉強会への講師派遣窓口の設置
院内で適切な医師を人選し、病院長として選出を行う

📄 東大病院地域医療連携会の案内について

2022年10月1日～11月30日 第8回東大病院地域医療連携会（Web配信）

📄 東大病院の新型コロナウイルス感染症患者さんの対応等について

📄 東大病院診療科案内について

東大病院アワード チーム部門

3つの視点「病院への貢献度、技能/労力、将来性」から総合的に評価され、チーム部門においては最優秀賞1チーム、優秀賞5チームが受賞しました。

最優秀賞 病院機能評価結びのチーム

◆受賞理由◆

2022年4月に病院機能評価の認定を受けるのに際して、日本医療機能評価機構からの課題に粘り強く取り組んだ。

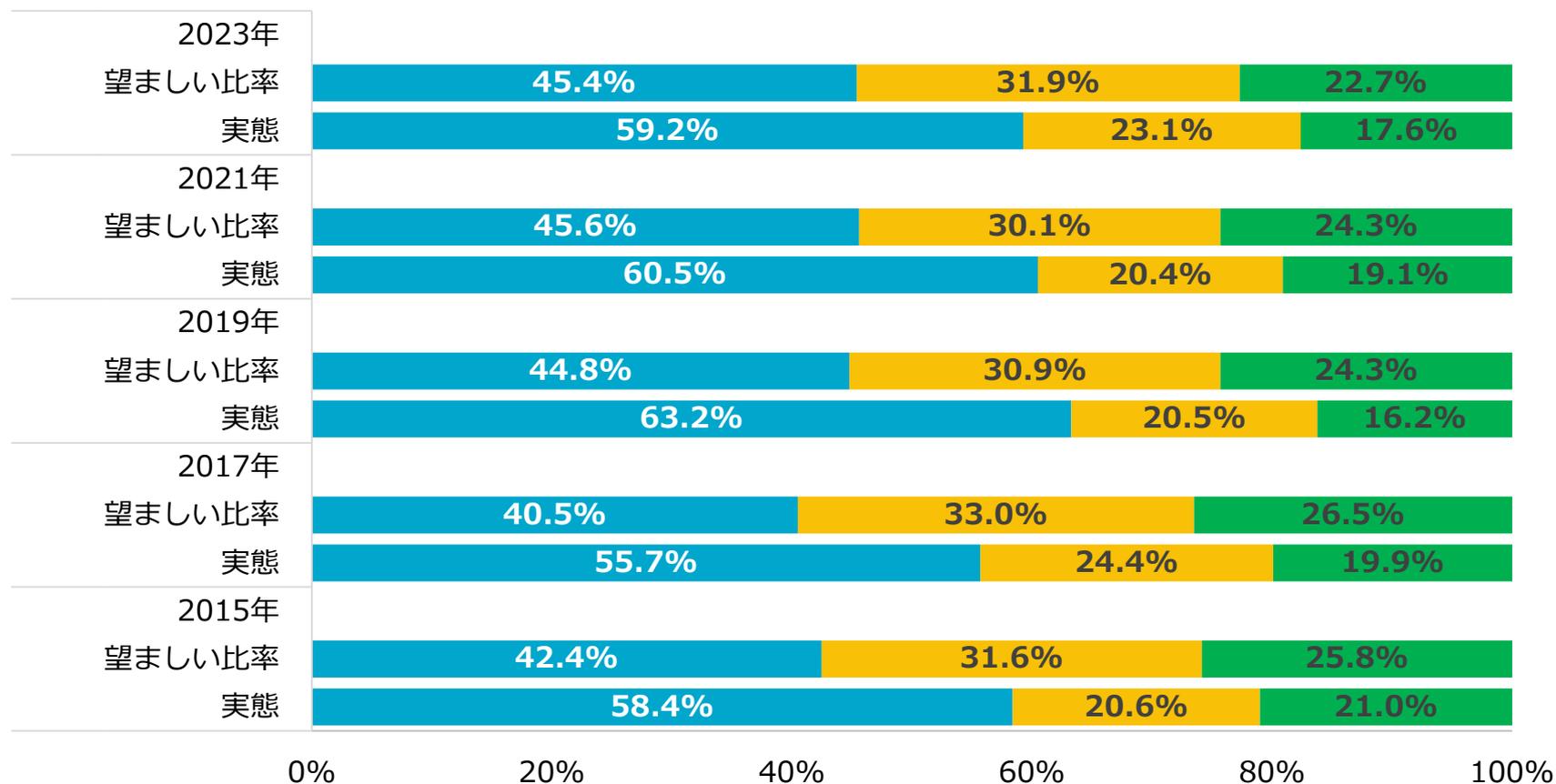
東大病院アワード 個人部門

個人部門においては、広く院内から募った推薦を経てベストスタッフ賞12名が受賞しました。



診療科(部)長を対象としたアンケートから見た 大学病院における診療、教育、研究の比率

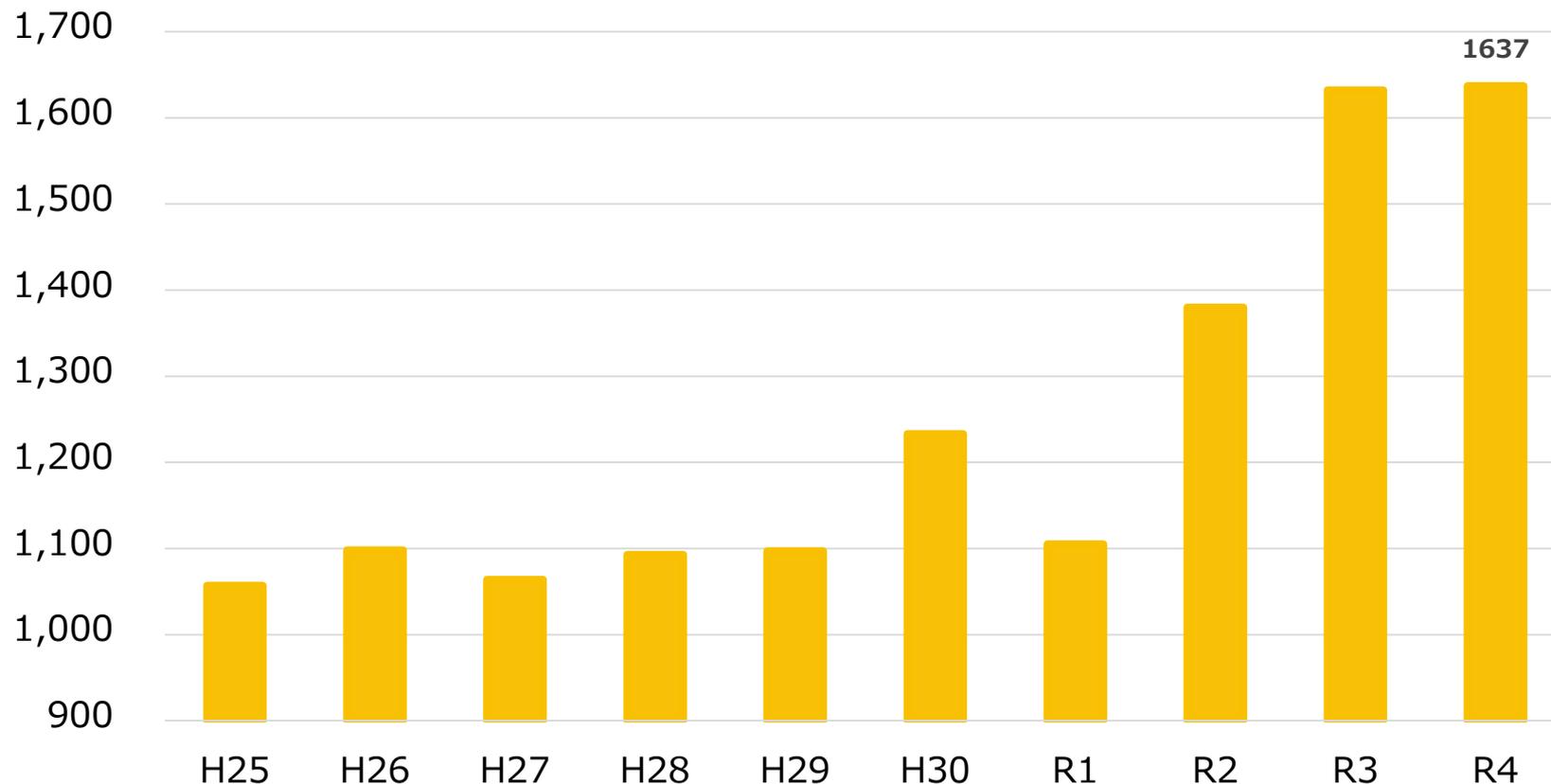
■ 診療 ■ 研究 ■ 教育



※アンケート回答率) 2023年 : 85% 2021年 : 73% 2019年 : 95% 2017年 : 95%

東大病院所属のものが著者に含まれる 英文原著論文数の推移

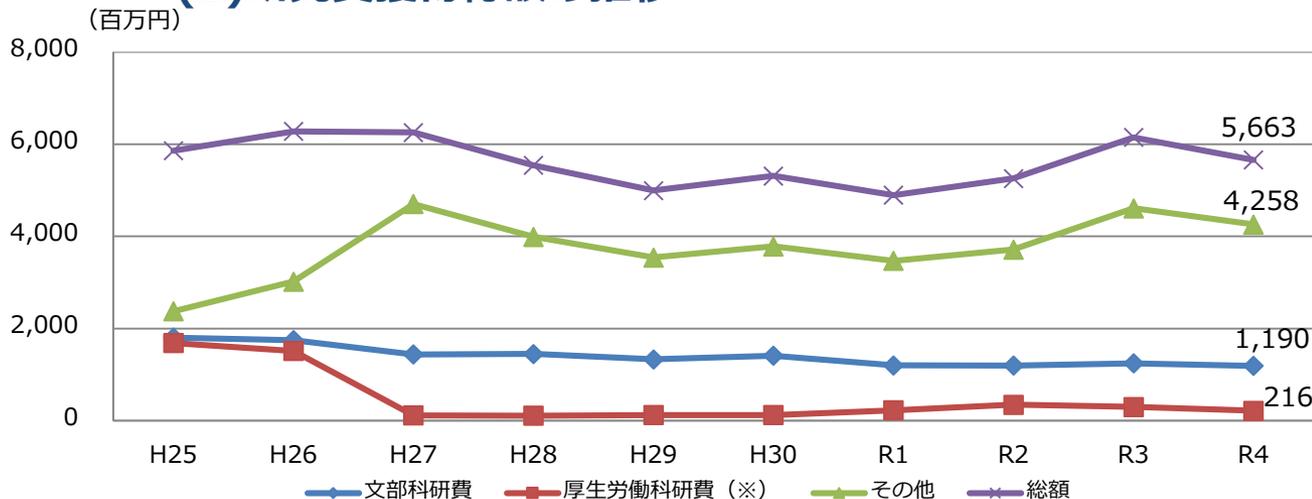
(単位：編)



※診療科（部）長から前年分として報告のあった論文のうち、PMIDが付されている論文集計
※所属が東大病院であればその形態（学生・スタッフ、常勤・非常勤の別等）は問わない

研究費獲得の推移

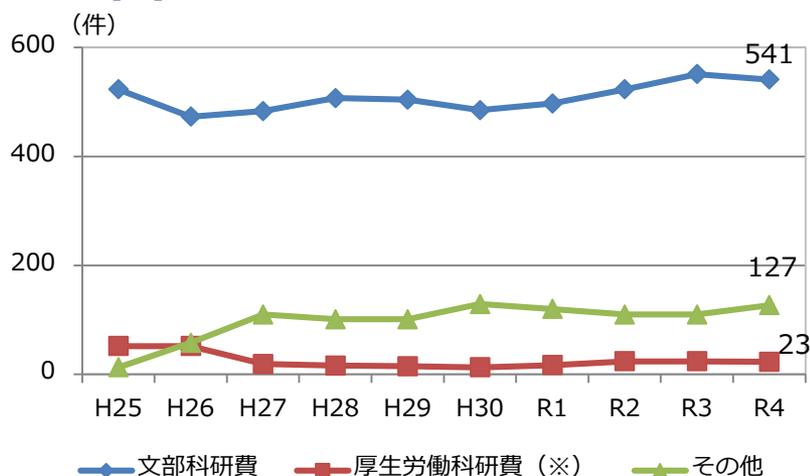
(1) 研究費獲得総額の推移



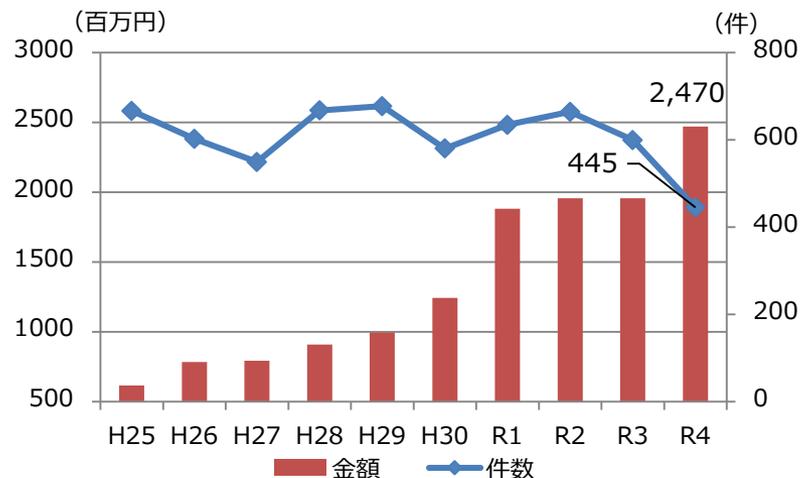
【その他の主な内訳】

- ・ 研究開発施設共用等促進費補助金
- ・ 科学技術総合推進費補助金
- ・ 医療施設運営費等補助金 (早期探索)
- ・ 文科省科学技術試験研究委託事業
- ・ JST委託費
- ・ NEDO委託費
- ・ AMED委託費

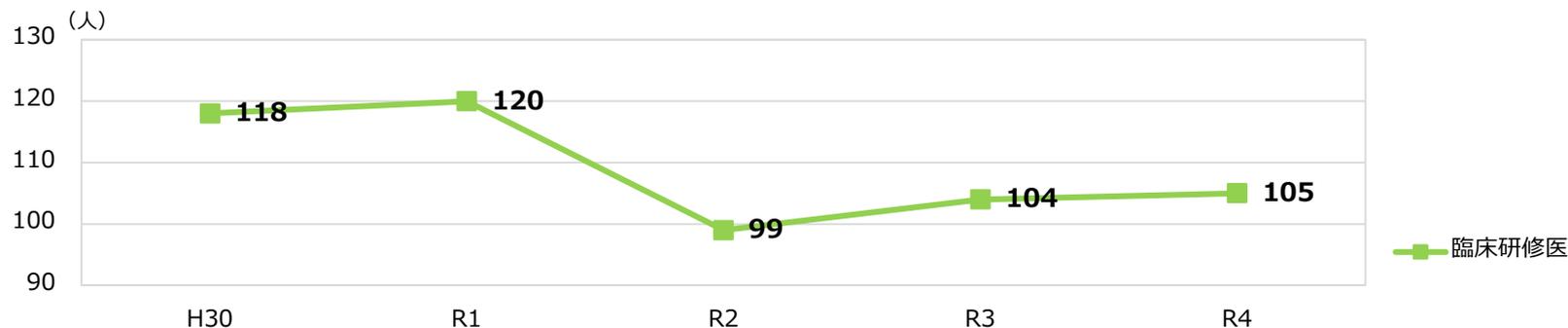
(2) 研究費獲得件数の推移



(3) 受託・共同研究の推移



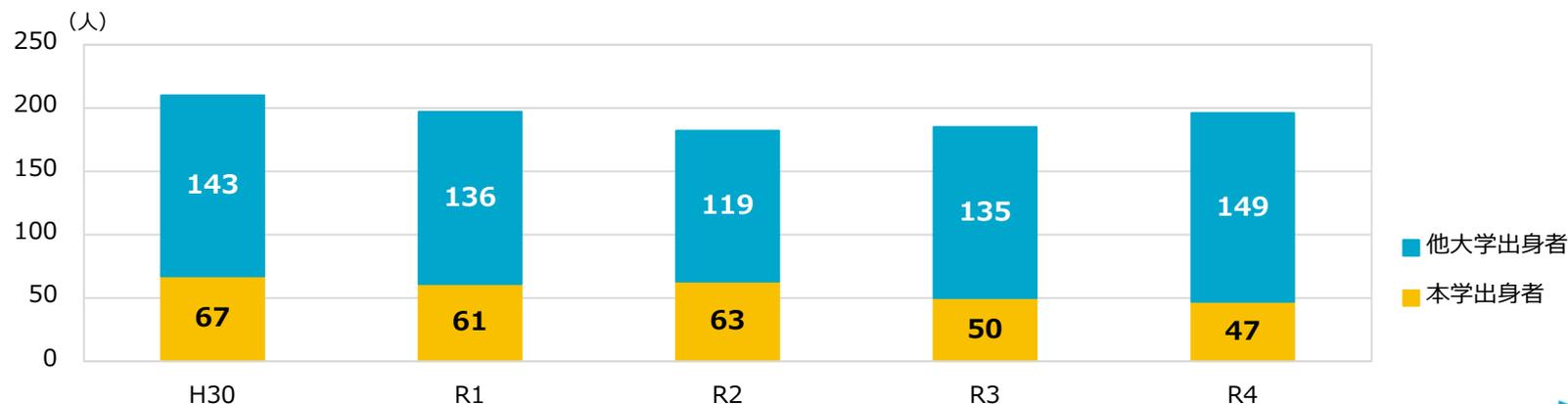
(1) 医師臨床研修プログラム (マッチング数)



※臨床研修医…医学部を卒業し、医師免許を取得した医師が、プライマリ・ケア（病気の初期診療）の基本的な診療能力（態度・技能・知識）を身に付けるために、2年間の医師法に基づく臨床研修を受けている医師

※マッチング（研修医マッチング）…医師免許を得て臨床研修を受けようとする者と臨良研修を行う研修病院の希望を踏まえ、一定の規則に従い組み合わせを決定

(2) 専門研修プログラム (基本領域の新規登録者数)



※専門研修プログラム…臨床研修修了後に専門医となるためのプログラム

VR技術を用いた教育コンテンツの開発

クリニカルシミュレーションセンターでは、企業と共同して「現実の様に実際に自らの身体を使いながら行う学習」をコンセプトにしたコンテンツを開発。皮下注射、静脈注射、末梢静脈カテーテル挿入の3つの穿刺手技を、実際の患者に行っているかのように学習できる。



【働き方改革で期待される効果】

《講師》

- ・講義をフィジカルに行わなくて良いため、時間の融通を利かせられる
- ・VRでトレーニングを行ってから現実で行うことで、対面実習の回数を削減できる

《受講生》

- ・正しいプロセスを1人で、かつ何度でも学習できる
- ・穿刺だけでなく、声かけのタイミングなどのコミュニケーションも学べる

高度なスキルを有する特定看護師の育成

「特定看護師」とは、専門的な知識と技術が必要とされる特定行為（診療の補助）の研修を受けた看護師であり、R4年度・第2期生の4名が認定された。（他施設からも受入）

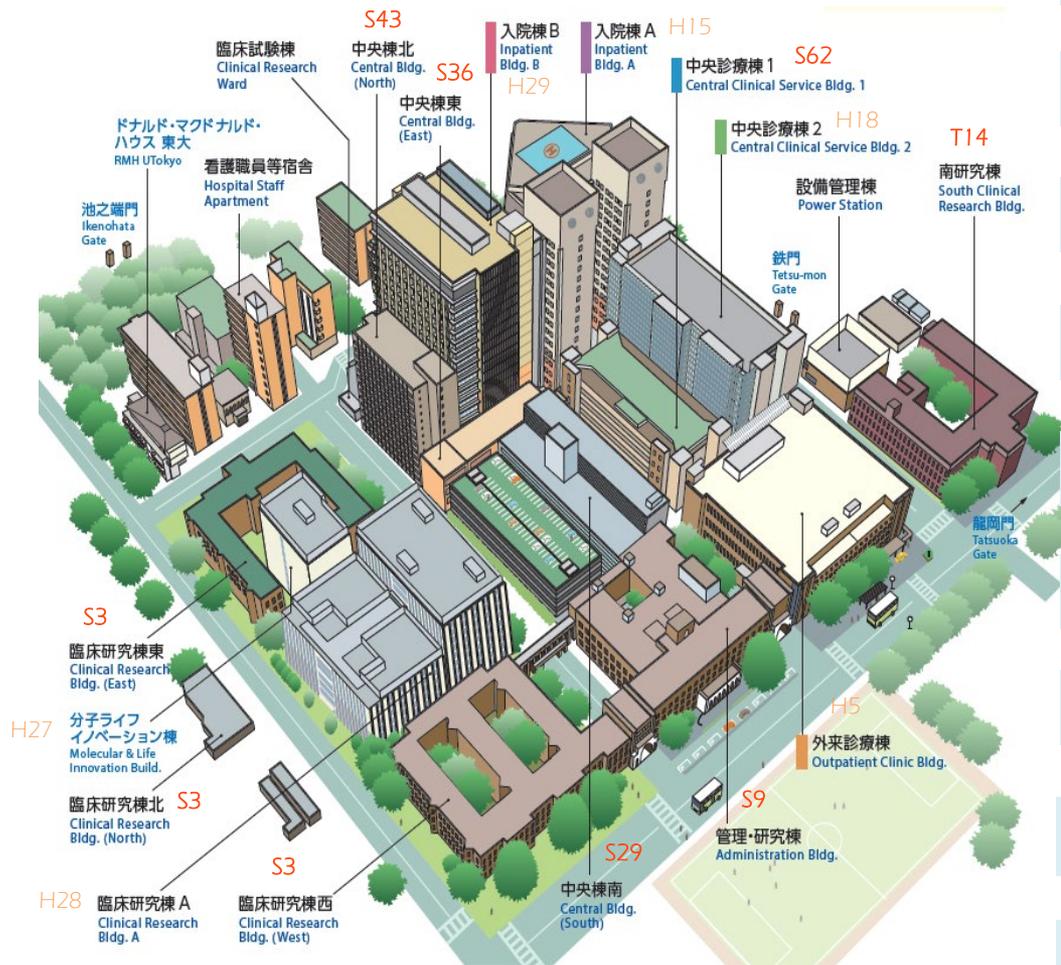
（本院では、術中麻酔領域の分野で、第1期生：4名及び第2期生3名の合計7名の特定看護師が誕生した）



【特定看護師の活動状況】

現在、手術部において3名のシフト制で、1名/日の麻酔業務に就けるよう調整している。12月以降は第2期生を含めた5名のシフト体制で、2名/日が従事する予定。今後は、手術部以外での活動拡大（術後管理、疼痛管理等）に向けて、ICU2で麻酔科医師業務の見学から開始することを麻酔科医師と調整している。

病院地区再開発計画



- 2015 臨床研究棟 A - I 期竣工
- 2016 分子ライフイノベーション棟竣工
- 2018 入院棟 B 診療開始 (1月)
- 2019 南研究棟改修完了
- 2019 臨床研究棟 A - II 期竣工
- 2019 入院棟 A 周産期・小児集中治療部門機能強化完了
- 2021 中央診療棟 1 検査部門機能強化完了
- 2022 臨床研究棟西、管理・研究棟機能強化完了
- 2024 中央診療棟 1 改修工事着工

新型コロナウイルス感染症への取り組み

新型コロナウイルス感染症入院重点医療機関としての役割

- ・東京都からの要請を受け、積極的に入院患者を受け入れ
(医科研病院と合わせて国立大学法人病院で最大数の患者を受入れ)
- ・重症者を中心に高度な集中治療を提供
- ・新型コロナウイルス感染症専用病棟の設定と一般病棟での患者受入れ

院内感染を防ぐための取り組み

- ・院内感染対策の指導・教育の徹底
- ・かかりつけ発熱外来の開設と発熱患者来院時のスクリーニング窓口の開設
- ・入院前抗原定量検査の実施、面会制限
※5類感染症移行に伴い面会制限等は緩和へ

東京都の要請

軽症から中等症の患者に対して、酸素投与のほか、中和抗体療法等の医療を提供する施設（高齢者等医療支援型施設、酸素・医療提供ステーション）へ人員を派遣。

(令和4年4月1日～令和5年3月31日まで実績)

91 人 延べ 482 人日勤務

※夜勤、土日祝日勤務も含む

数字で見る本院の取組状況[R2.3～R5.3実績]

▶ 本院では新規陽性患者1,029名を受入(他2名有:発熱外来で陽性確定保健所取りとなった例等)

重症受入	386人(陽性)	4,901名(成人・小児病棟延症患者数)	
軽・中等症受入	645人(陽性)	8,310名(延症患者数)	
発熱外来	4,104人受診	20,891人(トリアージ患者数)	
PCR検査 抗原定量	46,403検体(PCR) <small>R2.3～感染制御部</small>	45,615検体(抗原定量) <small>R3.2～検査部</small>	
関連通知	410回	(病院長動画23回、現状報告117回、患者対応64回、教職員周知212回)	

出典：東大病院コロナ対策本部事務局



新型コロナウイルス感染症拡大防止事業への日頃の貢献が認められ、東京都より感謝状をいただきました。